

みおつくしクラブ大阪(大阪市老人クラブ連合会)



大阪市老人クラブ徽章

# 大老連だより

758

令和7年  
4月号

全国3大運動

健康・友愛・奉仕をめざして

市内全会員に配布

発行所  
一般社団法人  
大阪市老人クラブ連合会

〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センター3階  
電話 事務局 06(4304)8555  
編集室 06(4304)8556  
FAX 06(4304)8557

編集協力 株式会社 博報社 〒547-0026 大阪市平野区喜連西4-6-69 電話 06(6797)0212

## 令和7年度 大老連予算理事会を開催



事業方針・事業計画・収支予算を決定

大阪市老人クラブ連合会の予算理事会が、3月4日(火)、大阪市立社会福祉センターで開催され、令和7年度の事業方針(案)、事業計画(案)および収支予算(案)が全会一致で承認されました。

承認された事業方針、事業計画および収支予算の要旨は次のとおりです。(事業方針、事業計画の全文については、連合会ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。<https://www.dairoren.org/>)

### 令和7年度 主な事業予定

| 事業                   | 月日                                                                          | 備考            |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------|
| グラウンド・ゴルフ大会          | 6月6日                                                                        | 豊里中央公園(東淀川区)  |
| 大阪市高齢者福祉大会           | 9月4日                                                                        | クレオ大阪中央       |
| 供養塔法要                | 9月下旬                                                                        | 高野山奥の院        |
| 高齢者の主張発表             |                                                                             | 大老連だより10月号に掲載 |
| 老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会 | 1月中旬                                                                        | 場所未定          |
| 健康づくり推進リーダー養成講座      | 10月～12月の間に開催                                                                |               |
| シルバー教養講座             | 年2回程度開催<br>(開催日時等は大老連だより等に掲載)<br>この講座は市内在住の60歳以上の方を対象にしており、会員以外の方も参加申し込みが可能 |               |

### 事業方針(要旨)

- ◆超高齢社会を迎え、とりわけ1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の割合が高い大阪市においては、地域の繋がりが希薄になり、認知症高齢者の増加が見込まれるなど、高齢者を取り巻く環境は厳しい状況にあります。
  - ◆このような状況において、高齢者がお互いを支え合い励まし合いながら豊かで活力のある長寿社会を築いていくためには、高齢者自らが問題意識を高め、生きがいと健康づくりに努めるとともに、これまでに培ってきた知識や経験を生かし、積極的に地域社会の中で役割を果たすことが極めて大切です。
  - ◆令和6年施行の孤独・孤立対策推進法や認知症基本法の取り組みと軌を一にして、人生100年時代における老人クラブの存在価値を再認識し、創意工夫を凝らして多様なクラブ活動と友愛活動や奉仕活動を推進し、老人クラブが地域の高齢者を代表する組織として地域社会になくてはならない存在となるよう、誇りをもって一層の取り組みを進めます。
  - ◆一方、会員の減少、指導者の不足、財源不足など極めて厳しい状況に対応するため、「運営改革検討委員会」で運営改革の方策を検討しつつ、老人クラブ活動の活性化や人材育成に取り組むことで、組織基盤の強化を図るとともに、令和6年改定の「会員増強行動計画(第2次計画)」のもと一層の会員増強運動に取り組み、自主財源の確保に努めます。
- 令和7年度も、事業目的の達成と効果の観点からその選択と集中を図るとともに、管理経費の徹底した見直しを図り、持続可能な運営を目指します。
- ◆老人クラブの柱である健康づくり活動は、感染症予防と健康の保持・増進の両立を図れるよう運営等に工夫しながらスポーツ大会などの開催や健康推進リーダーの養成に継続して取り組み、高齢者の健康づくりを推進します。
- また、老人クラブのリーダーの育成にも引き続き力を注いでいきます。
- ◆以上を踏まえて、全老連が提唱している「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」をメインテーマに、豊かで活力のある長寿社会の実現をめざして、「健康・友愛・奉仕」の活動を進めます。